



三重県

DATA	【人 口】	1,740,933人 (R4.12.1現在)
	【面 積】	5,774.47平方キロメートル
	【職員数】	5,190人 (R4.4.1現在)

《発表のテーマ》 牧草用作業機械の改良

<発表概要or今年の特徴>

牧草の種まき作業の省力化に向け、耕起（土を耕す）・施肥（肥料を与える）・播種（種を播く）・覆土（種に土をかぶせる）に至る4つの作業体系を見直し、各作業を同時にできる作業機を開発しました。

<改善運動の特色やアピールポイントなど>

MIE職員カアワード

三重県では、職員が取り組んだ改善・改革活動を表彰・共有する「MIE職員カアワード」を毎年実施しており、昨年度198件の応募・推薦取組から選ばれたグランプリ受賞取組の発表です。

<メッセージ・意気込み>

三重県畜産研究所では、日常業務の改善・改革を通じて、職員の意欲や能力の向上に取り組んできました。今回、種まき作業を大幅に削減できる画期的な作業機を開発しましたので紹介させていただきます。



©PSP/T-e
三重県応援キャラクター
栗の助（うさのすけ）

三重ブランド
認定品

人と自然の力。
海と大地と太陽と——
三重の自然は優しい「力」です。
その「力」を引き出すのは、
秀れた人の技。
出会いが奇跡を生みました。

部署名	(三重県) 畜産研究所大家畜研究課
タイトル	牧草用作業機械の改良
改善前 【Before】	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 牧草の種播き作業は、耕起・施肥・播種・覆土・鎮圧に至る多数の作業工程が必要です。・ この方法では、作業機の付替えに時間を要することや機械操作に熟練技術が求められます。・ 以上のことから、新たな省力的作業体系を確立し、業務改善を推し進める必要がありました。

取組内容

これまでの体系（作業機を付替えて4工程の作業が必要）

耕起（1工程）	施肥（2工程）	播種（3工程）	覆土（4工程）
			

各作業機を組合せることで、4工程の作業を1工程に削減



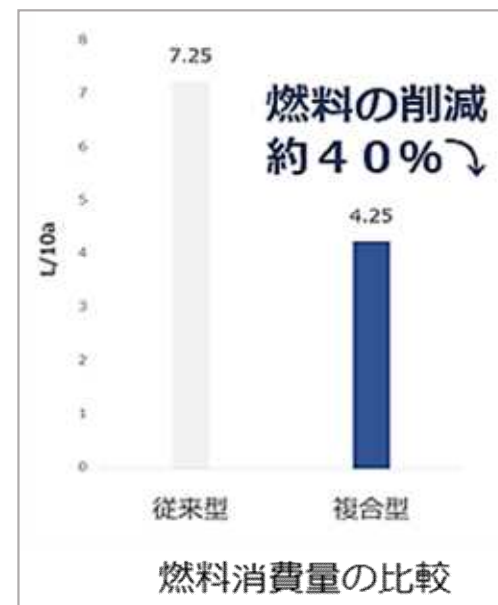
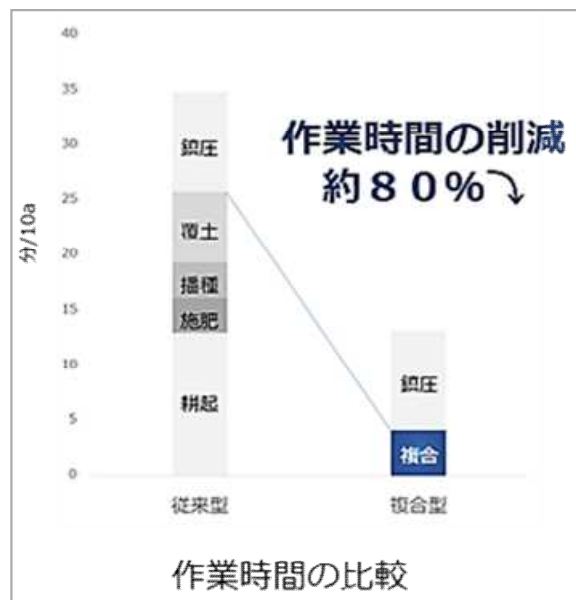
新たな体系【複合型播種機は、1工程で作業が完了】

耕起・施肥・播種・覆土の同時作業が可能（1工程）



効果 【After】

(改善の成果
・取組の効果)



従来型 (出芽にムラあり)



複合型 (出芽にムラなし)

散播装置の播種精度

効果 【After】

(改善の成果
・取組の効果)

1. 開発した複合播種機は、耕起・施肥・播種・覆土の作業工程を同時に実施することが可能であり、作業時間を約80%（従来体系は播種前日の耕起作業を含む）、燃料消費量についても約40%低減できました。
2. 複合型播種機の操作や作業方法に高度な技術は必要なく、作業の単純化と安定した作業性を実現できました。
3. 散播装置を取り付けた複合型播種機は、牧草種子を圃場全体に均一散布することが可能であり、隣接する畑への種子や肥料の飛散を防止できることも特筆すべき点です。
4. 今回開発した複合型播種機と散播装置は、職務発明として特許を出願しました。（特願2022-131868）